
Almaモバイル2アプリケーションの概要

Almaモバイル2は、携帯電話とタブレットを使用してワークフローに合わせたAlma機能のポータビリティを提供します。例えば、Almaモバイル2によって、モバイルデバイスから [書架から取得] プロセス ([フルフィルメント] > [リソースリクエスト] > [書架から取得]) を直接リクエストできるようになります。以下のセクションでは、利用開始に役立つ次の情報を提供します：

- [サポートされているオペレーティングシステム](#)
- [サポートされているデバイス](#)
- [サポートされているバーコード記号](#)
- [開始、ならびにログイン](#)
- [設定の操作](#)
- [Almaからログアウト](#)

以下からAlmaモバイルアプリをダウンロードしてください：

- Google Play
- Apple App Store

Almaモバイル2アプリのライセンス情報は、[「Alma Mobile EULA」](#) と [「Alma Mobile App」](#) に記載されています。

サポートされているオペレーティングシステム

Almaモバイルは、次のデバイスオペレーティングシステムをサポートしています：

- Android
- iOS (11以降)

サポートされているデバイス

Almaモバイルは、次のモバイルデバイスをサポートしています：

- iPhone
- iPad
- Android携帯電話
- Androidタブレット
- Bluetooth対応のハンドヘルドスキャナー

サポートされているバーコード記号

以下に示すオペレーティングシステムのバーコード記号は、モバイルデバイスのカメラを使用してバーコードをスキャンする場合にサポートされます。モバイルデバイスに接続されたBluetooth対応スキャナを使用してバーコードをスキャンする場合は、そのスキャナでサポートされているバーコード記号を確認する必要があります。

Androidオペレーティングシステムを使用するデバイスでは、デバイスのカメラを使用するときに次のバーコード記号がサポートされます：

- QRコード
- DATA_MATRIX
- UPC_E
- UPC_A
- EAN_8
- EAN_13
- CODE_128
- CODE_39 (下記のノートを参照)
- CODE_93
- CODABAR
- ITF
- RSS14
- RSS_EXPANDED

iOSオペレーティングシステムを使用しているデバイスのカメラを使用する場合、次のバーコード記号がサポートされません：

- QRコード
- DATA_MATRIX
- UPC_E
- UPC_A
- EAN_8
- EAN_13
- CODE_128
- CODE_39 (下記のノートを参照)
- ITF

Note

拡張コード39シンボルサポートを必要とする（よりも大きい記号、>などの）、拡張ASCII文字を使用したバーコードでのサイトの場合、その記号をサポートするあなたのモバイルデバイスに接続されているBluetooth対応スキャナを使用することをお勧めします。

開始、ならびにログイン

開始するには：

Note

独自のURLを持つホストシステムは、上記の形式ではなく、以下のフォーマットを使用する必要があります：

<https://<subdomain>alma.exlibrisgroup.com>

例：<https://caccl-laccd.alma.exlibrisgroup.com>

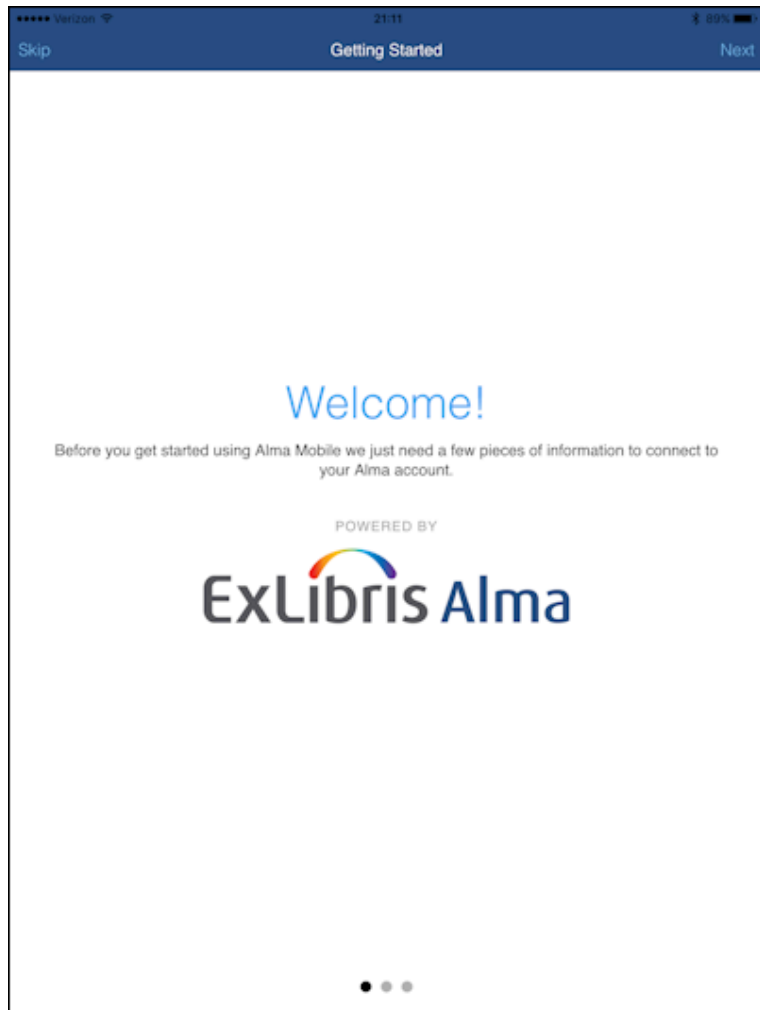
1. Apple App StoreまたはGoogle Playを使用して、Almaモバイルアプリをダウンロードします。
2. モバイルデバイスでAlmaモバイルアイコンを見つけて、アプリを起動します。



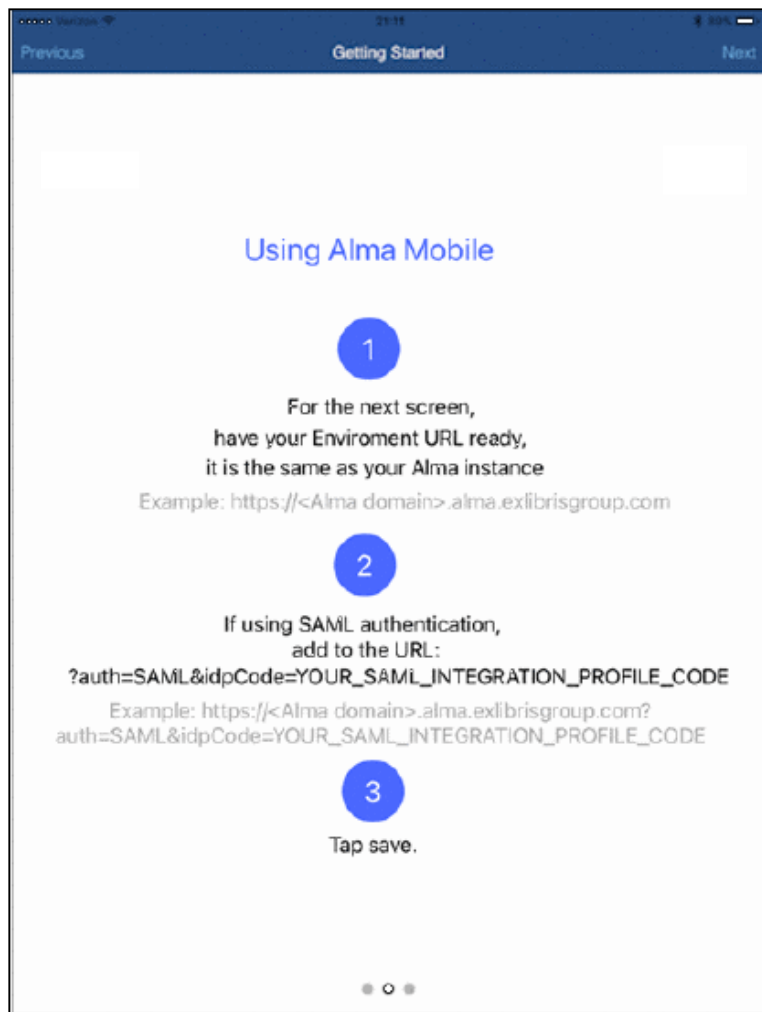
Almaモバイルアイコン

開始（Getting Started）ページが表示されます。

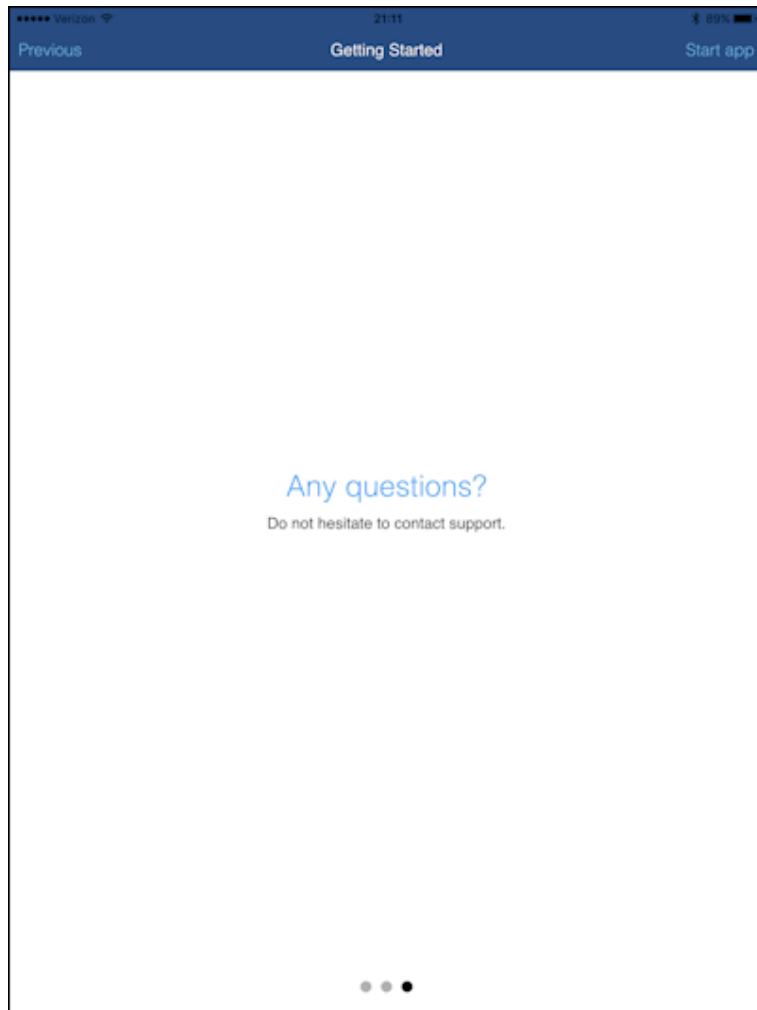
これらのページは、言語がAlmaによってサポートされている場合、モバイルデバイス設定でのデフォルト言語として特定された言語で表示されます。それとは別に、Alma Mobileの設定を使用して、モバイルデバイスでAlmaを操作するときに使用する言語を特定する必要があります。詳細については、[設定の操作](#)を参照してください。



開始1ページ



開始2ページ

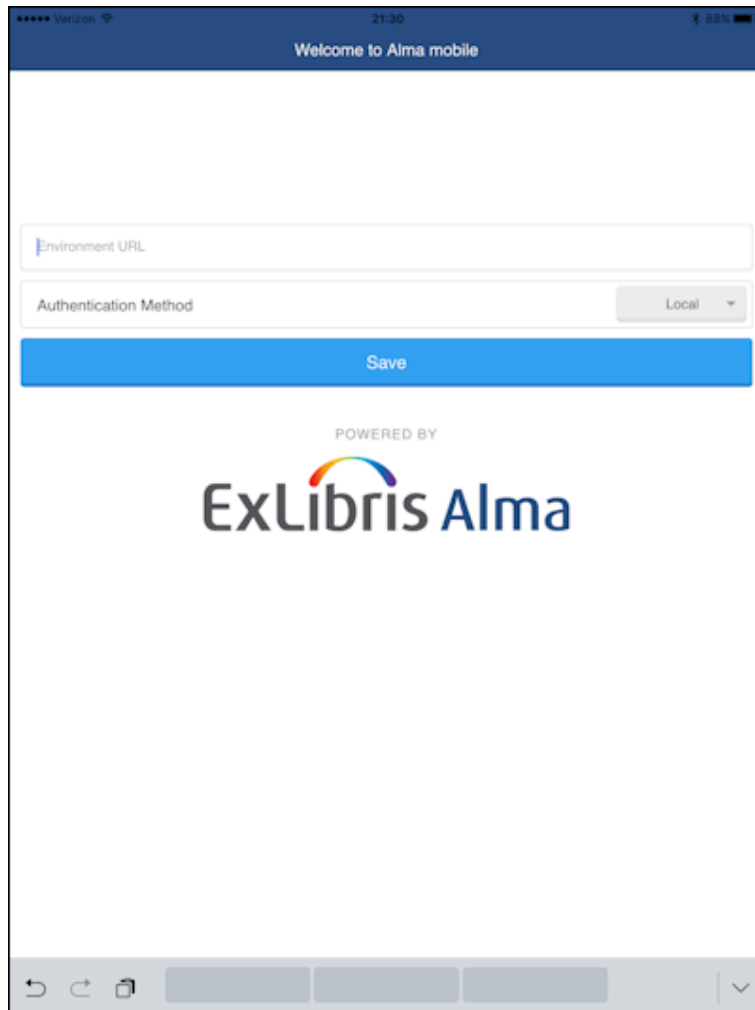


開始ページ

3. アプリを起動（**Start app**）をタップしてください。URL/認証設定ページが表示されます。

Note

このページは英語で表示されます。



URL/認証ページ

4. 機関固有のURLを入力します。例：

`https://caccl-laccd.alma.exlibrisgroup.com`

Note

機関固有のURLがない場合は、[開始] ページの説明に従って、自分の機関のURLを入力します。これは、mngがmobileに置き換えられた次の一般的なフォーマットのAlmaの例です：

- 生産：
`https://<institution_code>.alma.exlibrisgroup.com`
- サンドボックス：
`https://<hostname>.alma.exlibrisgroup.com?institution= <institution_code>`
たとえば、機関コード852ALMA_INSTのap01の場合、完全なリンクは次のようになります。
`https://sandbox01-ap.alma.exlibrisgroup.com?institution=852ALMA_INST`

SAMLを使用する場合、Alma URLが?auth=SAML&idpCode=SAML_PROFILEを含むように修正します。このSAML_PROFILEはAlmaの[設定]>[一般]>[統合プロファイル]で定義されているSAML統合プロファイルの名前です。

CASを使用する場合、Alma URLが?auth=CAS&idpCode=CAS_PROFILE を含むように修正します。このCAS_PROFILEはAlma の設定>一般>統合プロフィールで定義されているCAS統合プロフィールの名前です。

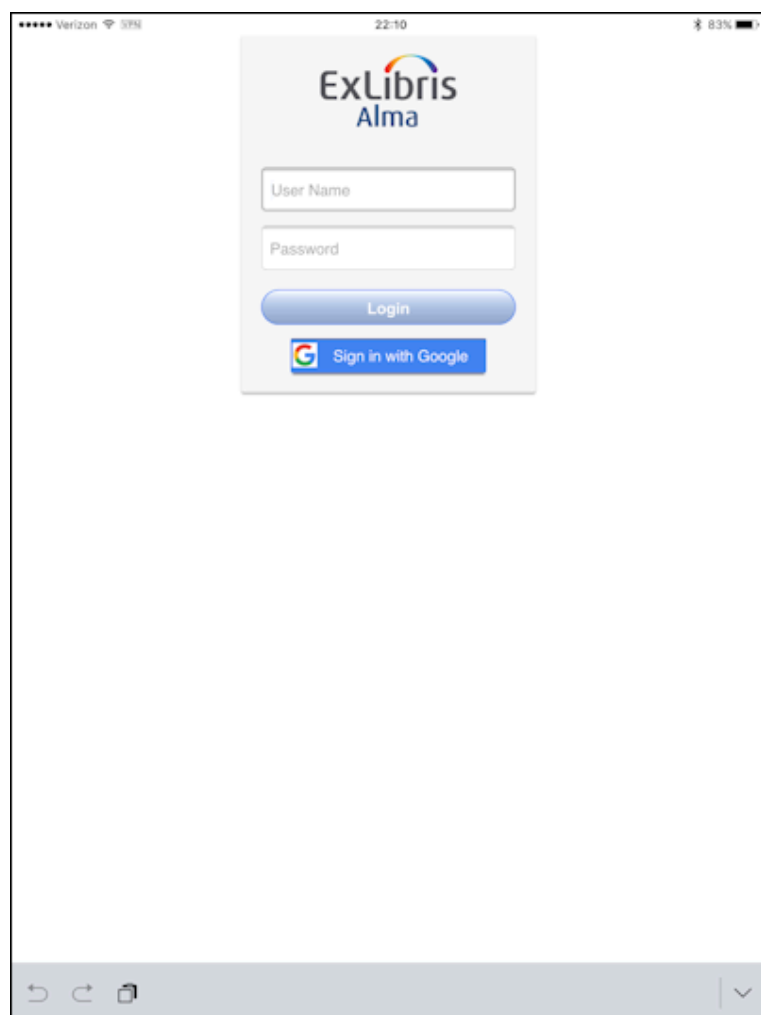
ソーシャルログインを使用する場合は、AlmaURLが?auth=socialを含むように修正してください。接続が完了すると、Alma Mobileに利用可能なソーシャルログインのオプションが表示されます。

Almaローカル認証を使用する場合は、?auth=local.を含むようにAlmaURLを修正してください。

5. 「保存」をタップします。Almaログインページが表示されます。

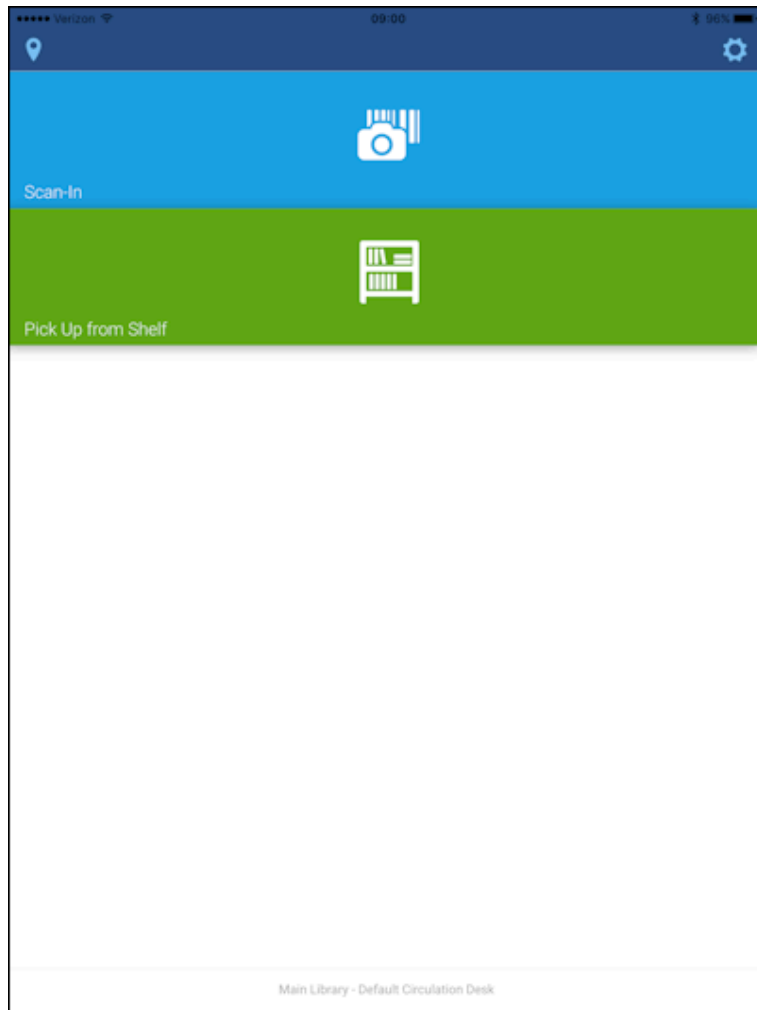
Note

このログインページは英語で表示されます。



Alma ログイン

6. Almaログインユーザー名とパスワードを入力します。Almaモバイルオプションが表示されます。



Almaモバイルオプション

Almaモバイルオプションの使用に関する詳細については、以下を参照してください：

- [\[書架から取得\]](#)を使用
- [スキャンを使用](#)

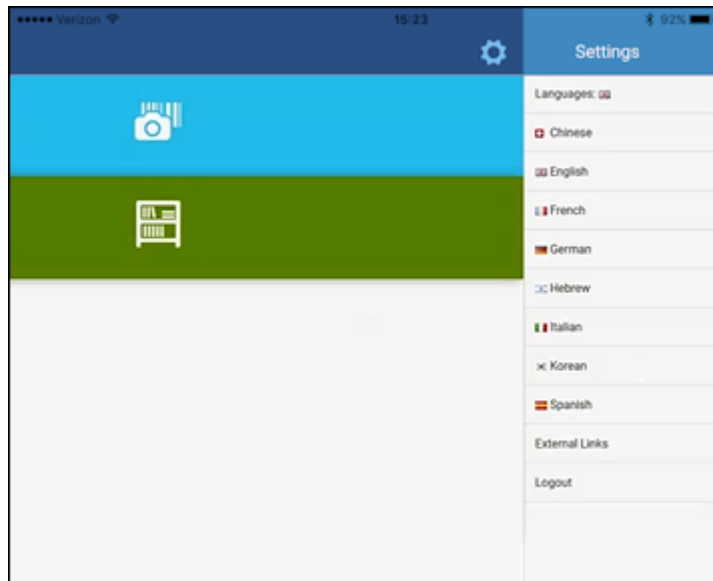
設定の操作

Almaモバイルは次の設定を提供します：

- 言語
- 外部リンク

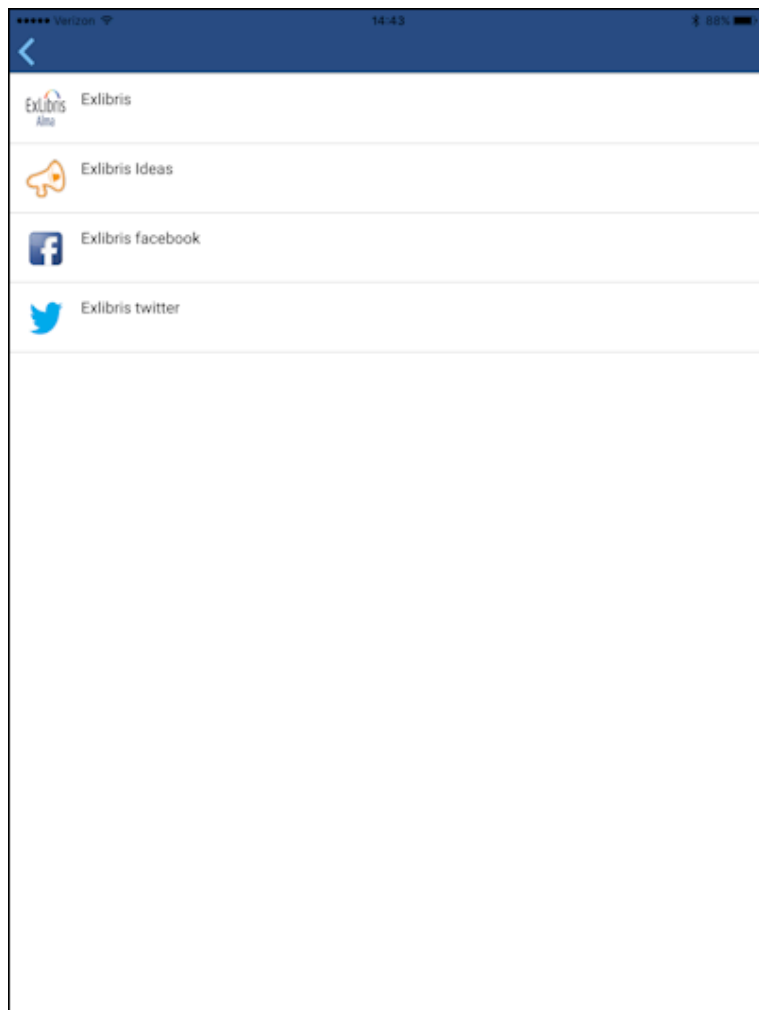
Almaモバイル設定を使用するには：

1. ギアアイコンをタップして、設定パネルを開いてください。
2. 言語 (**Languages**) をタップして、表示および/またはAlmaモバイル・ユーザーインターフェイスの優先言語オプションを表示および/または選択してください。言語設定オプションのソートされたリストは、Almaによって追加の言語がサポートされるため、適宜アップデートされます。



ユーザーインターフェイスの言語設定

3. 外部リンク (**External Links**) をタップして、Almaモバイルから次の外部リンクのいずれかに簡単に切り替えます：
 - Ex Libris アイデア
 - Ex Libris - Facebook
 - Ex Libris Twitter



外部リンク

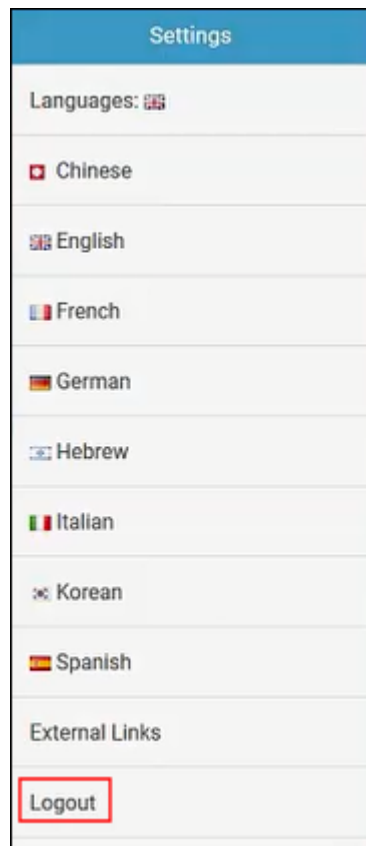
4. ギアアイコンをタップして、設定パネルを閉じます。

Almaモバイルからログアウトする

Almaモバイルの[設定]メニューには、Almaモバイルからログアウトするためのログアウトアクションが用意されています。

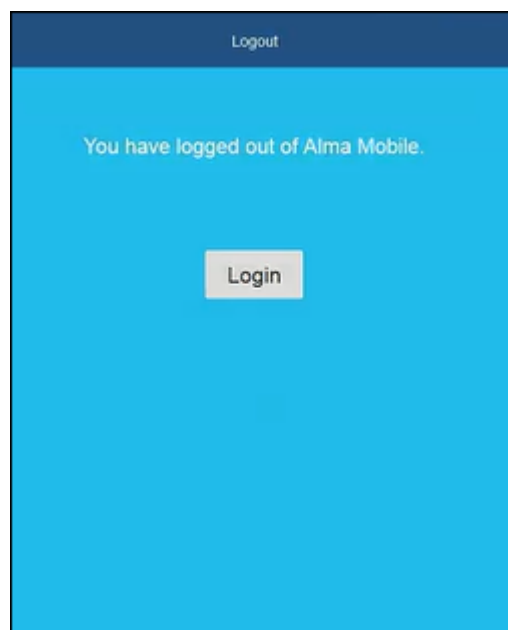
Almaモバイルからログアウトするには：

1. ギアアイコンをタップして、設定パネルを開いてください。
2. ログアウトアクションをタップします。



ログアウトアクション

ログアウトアクションの確認が表示されます。



ログアウト確認

ログインボタンをタップするとログインページに戻ります（[はじめに、ならびにログイン](#)を参照）。